

私たちに必要な「日ごとに」

2023年05月28日

信仰に問題が起こった時、私は、まず「初代教会に戻ろう」と口にします。聖霊を受けて始まった初代教会の姿をモデルにして、正しい信仰生活を始めようという意味です。

ところが、聖霊を受けた初代教会の信徒たちは、全員が完全に変えられたのでしょうか。

使徒の働きを詳しく読んでみると、その中にも多くの問題や事件がありました。初代教会の信徒だからと言って、だれもが信仰が成長し、霊的に健全になっていたわけではありませんでした。

何かがうまくなるためには、日頃の訓練が必要です。「何をしたか」よりも「どれだけしたか」で、それが身に着くかどうかが決まります。

初代教会の人たちは「日ごとに」するのが上手でした。使徒たちの教えを受け、心を合わせて集まるように力を尽くし、「食べ物に分ち合い、共に賛美する彼らの姿を描いた聖書本分の中で心にとめるべきことばは「日ごとに」です。

だれかに強いられるのではなく、聖霊に満たされてみことばを学び、持っているものを分かち合い、ともに食べ、また礼拝と賛美を「日ごとに」ささげることが出来たとは、なんと喜ばしいことでしょうか。

家庭、職場、社会で生活する上で、肉の糧を適当に一食で済ますなどということが出来ないように、霊の糧もきちんと摂らなければなりません。ですから私たちも、初代教会のように「日ごとに」聖霊に満たされるように励み、「日ごとに」にみことばに親しみ、日ごとに主との豊かな交わりに預かるように励みましょう。

リビングライフ・コラムより

週報

§ 今年の教会テーマ 「恵みあふれる教会」

§ 今年の主題聖句

「私たちはみな、この方の満ち満ちた豊かさの中から、恵みの上にさらに恵みを受けた。」ヨハネ1章16節

〒513-0035 鈴鹿市矢橋町 471-2
宗教法人 日本ネクスト・タウンズ・クルセード
鈴鹿キリスト福音教会
059-383-5145(教会)
080-3706-8433(牧師)

今週の礼拝メッセージ

輝子伝道師

主 題

「何もできない」から始まる

聖 書 簡 所

マルコ 10 章 17～27 節

【報 告】

- ※ 先週、婦人グループによる新たな取り組みとしてもたれた「つながるカフェ」の第 1 回目には全部で 15 名の出席がありました。
- ※ 本日、岩井牧師は津島福音教会で礼拝メッセージの奉仕に当たっています。津島教会の渡辺先生は数年前から脳梗塞の後遺症で奥様による介護を受けつつ自宅である教会堂で過ごしておられます。先生ご夫妻のため、また困難の中にあるあっても忠実に信仰生活を守っている津島教会の兄姉を覚えてお祈りしてください。
- ※ 今週から木曜夜 7 時 45 分からの聖書の学び会は対面で行いますが、オンラインも今しばらくは継続して行きます。

【メモ】

- ① 見えない心根を知る
『役人との対話』
 - ・膝まずく役人
 - ・イエスの応答
 - ・神が人に与えた律法
 - ・見えない心根
- ② 罪と義の間に
 - ・チャレンジの言葉
 - ・傷付き悲しんで帰って行った役人

『弟子達へのメッセージ』

- ・イエスの絶望的な言葉
- ・人には出来ないが、どんなことでも出来る神

* 分かち合いのメンバーや家族と考えましょう

※21 節のイエス様の御言葉にあなたの財産、奉仕(召命)、仕事、キャリア、計画、大事な人…を当てはめて聴きましょう。

『あなたに足りないことが一つある。_____を手放しなさい。そうすれば、天に宝を持つ様になろう。そして、わたしに従ってきなさい。』

- Q 自分が握っていたものを献げるよう(委ねるよう)導かれた経験はありますか？なぜ神様は、時にその様に導くのでしょうか？
- Q 人には絶対に出来ない、限界を感じていることがありますか？

※何でも出来る神に信頼し、抱えている問題にキリストの復活の力が与えられるように、わたし達の主である神ご自身を第一として日々歩むことが出来るように祈りましょう。(詩 139:23～24 読みましょう)